

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2011年1月～2022年12月の期間に、当院にて膵腫瘍と診断され、膵切除手術を受けた後、術後病理診断で、膵管内管状乳頭腫瘍(Intraductal tubulopapillary neoplasm)と診断された患者さん			
② 研究課題名	膵管内管状乳頭腫瘍(Intraductal tubulopapillary neoplasm)に関する多施設共同後ろ向き観察研究			
③ 実施予定期間	2024年5月～2026年3月			
④ 実施機関	国立病院機構 呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	里井 壯平	所属	関西医科大学附属病院 胆膵外科 診療教授
⑥ 当院の研究責任者	氏名	首藤 毅	所属	呉医療センター 外科
⑦ 使用する試料	収集する診療情報は下記の通りです。 ・情報 臨床所見(年齢、性別、身長、体重、臨床病期)、血液所見(末梢血液一般検査、生化学検査、CEA,CA-19-9)、病理学的所見(Evans分類、免疫組織学的所見を含む)、画像所見(CT,MRI,PET-CT)、手術関連情報(術前化学療法の内容及び投与期間、腫瘍の主座、術式、合併症、術後補助化学療法の内容及び投与期間、生存期間、死亡している場合は死因、再発の有無及び再発している場合は手術から再発までの期間)等を用います。 ・試料 腫瘍組織(診療で用いた検査の残余検体)を用います。 ※上記診療情報は、研究終了後5年間もしくは、研究結果の公表後3年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は当院の研究担当者が情報を取り扱い適切に保管します。			
⑧ 目的	症例を集積することにより、膵管内管状乳頭腫瘍の予後、手術における合併症発生率、無再発生存期間、再発形式および再発に対する治療成績、補助化学療法の有無による予後を明らかにすることを目的としています。			
⑨ 方法	データ収集元は診療録を使用します。診療録等のデータから必要事項を抽出し、エクセル等を用いてデータベースを作成し、データにおいては、特定の個人を識別することができないよう情報の加工をします。これらのデータはファイルにパスワードを設定した上で、データ集積機関である関西医科大学付属病院の担当者へE-mailにて送付します。			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2024年2月28日		
	院長承認日	2024年5月8日		
⑪ 公表	個人情報保護をうけて、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫ プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬ 知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の
問い合わせ先にご連絡ください。

⑭ 利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮ 問い合わせ	連絡先	首藤 毅	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構呉医療センター 外科			

呉医療センター院長